滋賀短期大学 学報

2019. 6. 1
No. 85

CONTENTS

[学長メッセージ／P2]

[各学科長、役職教員からのメッセージ／P3～4]

[特集1／P5]
卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー

[特集2／P6]
入学式、フレッシュマンセミナー　ほか

[新入職員・退職職員ごあいさつ／P7～8]

[Shiga・Tan・Information／P9]
同窓会だより、就職状況、免許資格取得状況　ほか

[学外実習報告／P10～11]

[学内情報／P12～16]
入試情報、短期大学行事等開催状況、
教育研究活動報告、図書館だより、公開講座　ほか

滋賀短期大学は
令和2年4月に
「創立50周年」を
迎えます

滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4　滋賀短期大学　広報・図書委員会
電話（077）524-3605
ホームページアドレス　http://www.sumire.ac.jp/tandai/

学長メッセージ
Message

滋賀短は50周年を迎えます

滋賀短期大学学長　秋山　元秀

純美禮学園は昨年100周年のお祝いをしましたが、滋賀短期大学は、来年令和2年（2020）4月に50周年を迎えます。本学の前身である滋賀女子短期大学が設立されたのは昭和45年（1970）4月でした。当初は服飾学科50名と幼児教育学科50名からスタートしました。その後、学生定員は徐々に増えてゆき、昭和62年（1987）には秘書科100名が増設され、そのころには服飾学科も80名、幼児教育学科も120名に増えていました。その後、服飾学科は生活学科、秘書科はビジネスコミュニケーション学科、幼児教育学科は幼児教育保育学科と名称も変わり、学生定員も全体で350名となりました。平成20年（2008）には男女共学になり、学校の名称も滋賀短期大学と改めました。

50周年を迎えるに当たり、滋賀短期大学がどのようにしてできたのかを振り返り、その頃はどんな時代だったのかを考えてみましょう。創設される少し前、昭和39年には東京オリンピックがありました。40年代とは日本全体が高い経済成長に支えられて、日常生活もどんどん良くなるように思い込んでいた時代です。毎年の経済成長率は10%を越え、「新三種の神器3C」といわれて自動車・クーラー・カラーテレビが各家庭に入り込んでいきました（ちなみにその20年前の三種の神器は白黒テレビ・冷蔵庫・洗濯機でした）。昭和45年はいざなぎ景気と呼ばれた好景気の波の最後ともいえる年で、3月には大阪千里丘で万国博覧会が開催されました。経済成長に合わせるように、生活水準も上がり、教育においても高学歴化が進みます。大学進学率もそれまでは10%台だったものがどんどん上昇し、70年代から20%、90年代に30%、現在は50%を越えるようになっています。

しかし同時に昭和45年ころをはさんで、社会の不安定な要素も見られるようになっていました。いわゆる学園紛争が始まり、東京大学の安田講堂が機動隊との攻防の場になったのは昭和43年でした。経済成長の陰で進行していた公害に対してようやく社会が厳しい目を向けるようになったのもこのころです。人口は増え続けていましたが、合計特殊出席率（女性が子供を産む数を示す）は、昭和50年から2.0を割り込み、それが今日の人口減少を招いています。

世界のできごとでは、昭和44年アメリカの宇宙船アポロ11号が月面着陸に成功しています。しかしアメリカはベトナム戦争で行き詰まり、昭和48年にようやくパリ協定が結ばれ長い戦争が終わりました。その前年にはアメリカのニクソン大統領が中国を電撃訪問、米ソの冷戦が続いていた世界情勢が大きく変わろうとしています。これに合わせるように昭和47年5月、沖縄はアメリカから日本に返還されました。

本学はこういう時代から50年の歴史を経ていることになります。ではなぜこの昭和45年という時に滋賀女子短期大学が造られたのでしょうか。それを見るためにはもう少し時代をさかのぼる必要があります。昭和20年の終戦と同時に、日本の教育制度は大きく変わります。終戦時、純美禮学園のもとに滋賀高等女子実業学校がありましたが、昭和23年にこれが新制高校の大津家庭高等学校に移行します。そのころ校祖中野冨美先生はすでに短期大学（短期大学が制度として発足するのは昭和25年なのですが）の設立が必要だと考えておられたようです。それは実業学校の時にはできた教員養成ができなくなったので、それができる制度として短期大学に注目したこと、実業学校で培ってきた技術教育をより高度なものとして展開させるためには短期大学が適切であるという判断があったことがあげられるでしょう。

ただ学園としては高等学校の充実が急務で、大津家庭高等学校を滋賀女子高等学校と改称したうえで現校地に拡充移転することを優先したのでした。中野富美先生は高校が完成したのちにも、自分の残された仕事は短大の開設だとおっしゃっていたとのことですが、残念ながら昭和41年2月に逝去されました。学園はその意志を継いで、高校卒業生の急増期にあわせるべく昭和43年開学を目指して短期大学の設置を計画されたようですが、結局、開設は2年後になりました。

計画当初は設置する学科は家政系で、将来的に保育系を増設する予定だったのですが、幼児教育保育系の需要が急増している実態を踏まえ、服飾学科と幼児教育学科の2学科構成で開設が認可されました。この段階では教員免許も服飾学科には中学校教諭二級普通免許が、幼児教育学科には幼稚園教諭二級普通免許が認められており、中野冨美先生が夢に見た学園の発展が実現したと言えるでしょう。

当時（昭和45年）の全国短期大学の学科を分野別にみてみると、一番多いのが家政系でほぼ1/3をしめます。しかしその次は人文系（英文や国文）で約2割、そして教育系、社会系が続いています。現在は最も多いのが教育系で約4割を占めていますから、時代の変化に応じて学科の分野も変わっていますが、本学では一貫して中野冨美先生が追求しようとした心技一如の精神の実現を目指す教育体制を継続してきたと言えるでしょう。

教育も現実の社会の中にあるのですから、時代の変化に応じて大学も変貌していくのが当然です。それでは、今の滋賀短がどういう状況にあるのか、これからの滋賀短がどのようになっていけばよいのか次号で考えてみたいと思います。

各学科長からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、伝えます

豊かな地域の食づくりに貢献

生活学科 学科長　中平　真由巳

生活学科の「食健康コース」「製菓・製パンコース」では、食を科学、文化、実践面など様々な方向から多角的、総合的に探求しています。各コースでは栄養士をはじめ栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなど専門的な知識と技術を必要とする資格が得られ、学生たちの食の専門家としての多様な働き方を後押しします。

食健康コースでは昨年度より厚生労働省の推進する社会人のための2つの雇用支援制度プログラムを取り入れました。本年度は留学生への門戸も広げて製菓・製パンコースにベトナムからの留学生を迎え、異なる文化や価値観、多様な経験や考えを持った学友と学び合っています。広い世界の食の文化を知ることは、地域の食文化の特性に気付く機会でもあります。当学科で取り組んできた「食を通した地域の未来づくり」にも大いに活かしていきたいと思います。

多様性は豊かさであり、共に生きる未来への宝です。ここでの豊かな学びの機会を存分に活かして社会に貢献できる食の専門家としての土台を一緒に築いていきましょう。

学び方を創造する

幼児教育保育学科 学科長　荻田　純久

2019年という年は、大きな変革の年である。元号が平成から令和に変わった。保育士、幼稚園教諭の養成課程も全国的に大きく変わり、新たに誕生した授業科目がある。手書きが主流であった実習記録、指導案の作成もパソコンを使用して行われるようになり、大学では、そうした教育が展開されていく。

一方、小さな変革は普段から我々の身の回りで生じている。多くの人が持ち歩くようになったスマートフォンも次々と新商品や新しいアプリが開発され、それらを使用する際にはその度に操作方法等を学びながら使っている。保育士、幼稚園教諭の世界においても同様であり、新しい考え方やよりよい子どもとの関わり方などが次々と誕生している。勿論、それらが本当によいものかどうかは分からないが、実際に学び、試してみないとその本質は分からない。

大学生というものは、さまざまな専門知識や技術を学ぶ。しかし、本当に学んで欲しいのは、学びたい時にどのようにすれば学ぶことが出来るのかといった学び方である。さらに欲を言えば、学び方を自ら工夫することである。こうした力を身につければ、どのような変革があっても対応できるようになる。そのためには、大学の授業以外にも音楽、映画、漫画、書物、スポーツなどさまざまなものに積極的に触れていって欲しい。

観光・ホテル・ブライダルコースの新設と国際化について

ビジネスコミュニケーション学科　学科長　小山内　幸治

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年度から、ビジネスコミュニケーション学科は、これまでの医療事務、オフィス実務、スポーツ健康の3コースに、観光・ホテル・ブライダルコースが加わり、4コース制に改編されました。また、公務員志望者のための「公務員試験対策プログラム」、4年制大学編入希望者のための「四年制大学編入プログラム」が新たに開設されました。これにより、将来の選択肢が大きく広がりました。短大の2年間で、自分の適性と興味をもとに将来をじっくり考え、夢をかなえることができるよう努力していただきたいと思います。われわれ教員も、皆さんの相談にのり、アドバイスを与え、適切な選択ができるよう支援していきます。さらに、今年はベトナムとスリランカから9名の留学生が本学科に入学いたしました。これまで本学科は「心技一如」を建学の精神のもと、地域貢献に積極的に取り組んでまいりましたが、これからは国際化も視野に入れ、よりの幅広い考え方をもった人材を育成していきたいと考えています。皆さんの、これからの2年間が充実したものになりますよう祈っております。

役職教員からのメッセージ

Teaching staff-Message

先生のキモチ、伝えます

双方向の学びを

教務部長　清水　まゆみ

筆者は生活学科で食品学を担当しています。食べ物は生きていくうえでもっとも重要な物質といえます。ヒトは雑食性で、野菜や果実などの植物、魚や肉などの動物とさまざまなものを食べて生きていますが、生物界全体では植物→草食動物→肉食動物という方向性があります。植物を草食動物が食べ、草食動物を肉食動物が食べるのです。この方向性を食物連鎖といい、その頂点にいるのがヒトで、ヒトは多くの生物に支えられて生きていることになります。このように食べるという行動は一方向ですが、学びについてはどうでしょうか。授業では教員→学生という方向性が主体となっていますが、学生→教員の反対方向もあるべきではないでしょうか。教員から一方向的に知識や技術を学ぶだけではなく、これらをよく味わってから飲み込み、納得がいかなければ質問し、討論することも必要でしょう。学生→教員の方向性は教員にとっての学びとなります。学びには双方向で臨み、おいしい授業にしたいものです。

2年間でどんな出会いがあるでしょうか

学生部長　原　知子

新年度が始まって早2か月、大学生活は順調でしょうか？ 今年度は今までにも増して留学生・社会人・ハンディキャップのある方がおられます。「違う」ということが明確で、目に見えて理解できる環境ではないでしょうか。文化が違う、コミュニケーションの取り方が違う、となると違いを前提にお話をすることができます。違いを知って互いの世界を広げたり、違いの中に共通点を発見したりしてみましょう。ところで、普段まわりの友人とはそれほど違いを前提におつきあいしているでしょうか。心のありようもみんなそれぞれ違っていて、100%同じに感じていることは稀有です。周りの人とのかかわりについても「違う」ということを前提に、互いに慮る（おもんばかる）気持ちを大事にしたいものです。

どんな人と出会うか、その出会いをいかに大切に育てるか、それによって人生がいろいろな方向に発展していくように思います。最初「嫌だな」と思った人が生涯の友になることもしばしば。積極的に「真の出会い」を作って、自分自身も相手も大切に、2年間という短い大学生活を愛おしんで過ごして下さい。

「無理！」から学んだこと―失敗は成功の母―

学生募集部長　山中　博史

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

数多くある大学、短期大学、専門学校の中から本学を選んで頂き、心から御礼申し上げます。

最近、スポーツ実技の指導をしているときに気づくことがあります。学生が講義の内容を聞いた後、いざ実践をする時間になると、失敗を恐れ「先生！無理です！」と言うことがあります。今年の学外授業において、小学校４年生にスキーの指導をした時にも、易しい練習であるにも関わらず、すぐに「先生、無理！」という言葉が出たことを覚えています。

現在、私は、本学のクラブ活動において、バスケットボール部の顧問を務めています。さほど難しくない方法を教えても、実践する前から「先生、無理です！」と発する選手がいます。このような時、必ず「やる前から諦めるな！」という声をかけ、まず行動することの大切さを気づかせ、何事にも積極的に取り組むように指導することを心がけています。

皆さんも、メディアの報道等ですでに知っているかと思いますが、新入生の皆さんとほぼ同年齢の池江璃花子選手が白血病と診断されました。東京オリンピックのバタフライの競技で、金メダル候補に挙げられている選手です。彼女は、自分の病名を医師から伝えられたとき、動じることなく「神様は乗り越えられない試練は与えない、自分に乗り越えられない壁はない」と答えています。

皆さんは、池江選手の言葉をどう思いますか？

これから、皆さんも色々な場面で数多の試練があるかもしれません。しかし、行動する前から「無理！」と決めつけないで、失敗を恐れず、何事にも勇気をもって、チャレンジをしてください。失敗してもいいじゃないですか。「失敗は成功の母」なのですから。

皆さんが本学において、一つひとつの試練を乗り越えて、人間的に成長することを願ってやみません。

本との出会いは、自己との出会いである

図書館長　深尾　秀一

最近、紙媒体で文字を読むことが年々少なくなり、スマホやデジタル機器を利用して、ニュースや様々な文章を読んでいることが多くなってきました。しかし、デジタルの場合は、文字を目で追いかけて情報を収集していることがほとんどで、心に何かが残っていることは少ないように思います。では、紙媒体で本を読む場合はどうでしょう。本を読むという事は、たんに文字を目で追いかけているのではなく、文字を読むことにより、心の中に何かを感じることではないでしょうか。そして感じるということは、自己との出会いであると思います。

滋賀短期大の図書館には、約8万冊の本があります。その中にはきっと皆さんにとって、何かを感じることの出来る、自己との出会いのある本が待っていると思います。ぜひ、滋賀短期大学の図書館に足を運んでみてください。すばらしい出会いがきっと待っています。

なお、同窓生の皆様には、今年度から新たに貸出期間の延長や借りられる冊数を増やしました。ぜひ母校の図書館をご利用ください。

［特集１］ Feature 1

第48回卒業証書・学位記授与式

幼児教育保育学科　講師　浜崎　由紀

平成31年3月15日10時より体育館に於いて第48回卒業証書・学位記授与式が挙行されました。当日は少し肌寒いながらも晴天に恵まれました。

学歌斉唱の後、卒業生一人ひとりの名前が読み上げられ、生活学科64名、幼児教育保育学科135名、ビジネスコミュニケーション学科81名に学位記・卒業証書が授与されました。その後、秋山元秀学長から式辞が述べられました。能の大成者である世阿弥が晩年に残した『花鏡』から「初心忘るべからず」を引用され、初心は、未熟な時の心構えを持ち続ければ大成するという「是非の初心」だけではなく、人生の途中に挫折し、そこを抜け出し新しい自分になったと感じた時の「時々の初心」、一生かけて勉強してきたことを新しい気持ちで振り返る「老後の初心」がある。それぞれの時期の初心を振り返り積み重ねながら成長していってほしいと卒業生に贈られました。

そして、卒業生を代表してビジネスコミュニケーション学科の森田桂也乃さんが謝辞を述べ、学生自治会長中村友美さんが卒業記念品の目録を贈呈しました。

保護者の方々、ご来賓の方々、教職員に囲まれて、卒業生一人ひとりの新たな門出を祝う厳粛な式典となりました。

卒業記念パーティー

学生自治会会長　藪中　智史

3月15日、卒業証書・学位授与式終了後、卒業記念パーティがびわ湖大津プリンスホテルにて華やかに行われました。このパーティの企画・進行は、新自治会執行部メンバーの初仕事です。不安がありましたが、先輩方の心に残るパーティーにするため、スライドショーなどいろいろな案を話し合いました。準備をしているときから緊張と不安がありました。当日は、進行通り動けるかの確認や会場最終確認をし、パーティー中は司会進行だけでなく、写真撮影をされている方に「撮りましょうか？」と声掛けをするなど、楽しく過ごしていただけるように心がけました。私たちが作ったスライドショーに見いってくれたり、笑顔で食事をしていたりする先輩方を拝見して不安は感動に変わりました。花束贈呈の時には、先輩方の涙にもらい泣きしてしまいました。私たち新自治会執行部メンバーにとって、新たな決意を抱きこれからの行事を頑張ろうという良い機会となりました。先輩方の新しい環境でのご活躍を祈念しています。

［特集2］
Feature
2

平成31年度入学式

生活学科　講師　山岡　ひとみ

桜が咲き始めた青空が広がる日に平成31年度入学式が執り行われ、生活学科53名、幼児教育保育学科102名、ビジネスコミュニケーション学科111名の学生を迎えました。保護者の皆様におかれましては、着慣れないスーツで不安を抱きつつも期待を膨らませている初々しい姿にこれまでにない喜びを感じられたことと思います。今年度は外国人留学生、社会人、聴覚障害者の方とさまざまな立場や経験をもった方々が入学されました。式辞の中で、秋山元秀学長は「多様な人たちとの交流によって、視野が広がり学ぶ姿勢を豊かにすることができる」と述べられました。多様な人たちや教職員とも交流を深め、国際性、社会性を身につけ視野を広くもった豊かな学生生活を送っていただければと思います。入学生のみなさまが充実した学びとなるように、教職員一同全力でサポートして参ります。

フレッシュマンセミナー

学生部長　原　知子

心技一如の理解と浸透、学生・教職員の相互親睦のために

入学式、オリエンテーションと続いた後、4月4日（金曜日）びわ湖大津プリンスホテルにて、新入学生対象にフレッシュマンセミナーが実施されました。

学長による開講のご挨拶、副学長による本学の心技一如の精神についてのお話、観世流能楽師による「心技一如の精神と通じる」お能についてのお話と続きました。お能の講座では衣装のつけ方、能面の扱い方、所作などの実演に加えて学生たちが実際に体験もさせていただきました。音楽担当の先生と学生たちによる学歌練習、昼食はホテル支配人・料理長（いずれも本学非常勤講師）によるマナー講習とフレンチを堪能、と盛りだくさんのプログラムを実施しました。午後は学科ごとに実施、生活学科はゼミ対抗で新聞紙で作った服装のファッションショー、幼児教育保育学科は手遊び、ビジネスコミュニケーション学科は名刺交換ゲームなど、これからともに過ごす仲間や教職員と一緒に笑い、話し、距離が縮まったのではないかと感じられました。

学生自治会執行部の紹介

学生自治会　副会長　岡村　生成

私たち自治会執行部は、短大の2年間が有意義に過ごせるよう、学生を代表して様々な活動を行っています。5月の学生総会、6月には体育大会や11月の純美禮祭（学園祭）、3月の卒業記念パーティーが大きなイベントとしてあり、一丸となって企画・運営に取り組んでいます。他に、自治会活動としてボランティアに参加をして、コミュニティーの輪を広げることもできます。

自治会活動の2年間はとても大きな経験になります。学生代表としての責任感や、外部の人との打ち合わせで身につく社会性は自治会活動をしたからこそ得られるモノです。ここで得たモノ全て役に立つとは限りませんが、自分自身の成長に繋がることは間違いないです。

「執行部には入りたくないけどイベントの運営に参加したい」という方は、実行委員を募集します。私達自治会執行部は、一緒に滋賀短期大学を盛り上げてくれる人を待っています！気軽に自治会執行部室に来てみてください。何か自分のやりたいことが見つかるかもしれません。

ぜひよろしくお願いします。

新入職員ごあいさつ

New staff-Message

よろしくお願いします

保育の国際化に向けて

幼児教育保育学科　特任教授
永久　欣也

みなさん今日は。この4月から幼児教育保育学科でお世話になっております。大学では「保育原理」や「保育者論」といった保育の基本的な授業を担当していますが、元々の専門は国際関係学の中の異文化間教育というものです。幼児期からの異文化理解はグローバル化の進む現代においては非常に大切なものでもあります。それだけに国際社会に通用する保育者養成が求められてもいきますが、そのような養成指導のお手伝いが微力ながらできればと願っております。

料理ができる栄養士を目指して

生活学科　特任助手
岸田　みさき

4月より生活学科調理準備室で特任助手として勤務しており、今学期は調理学実習や食品学実験を担当します。先日の調理学実習では、かつおと昆布の1番だしで若竹汁を調理し、そのだしの美味しさに幸せを感じました。だしパックや粉末だしの普及で、家庭でだしをとることが少なくなってきていますが、だしのとり方をはじめ、料理ができる栄養士を社会へ送り出せるよう、サポートしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもとかかわるということ

地域連携教育研究センター　准教授
松村　都子

園にいると常に「子どもの未来につながる幸せとは？」と考えます。でも、幸せって何でしょう？実は、世代を越え皆に共通する単純であたりまえの心もちなのかもしれません。

子どもは誰よりも時代の空気を吸って育ち、時代を映して存在しています。私たちは子どもを通して社会や暮らしを見つめ、自分を振り返る、考える、そして！自ら子どもにかかわる。子どもにかかわることは未来にかかわることです。こんなにわくわくする仕事はないかもしれません。

滋賀短期大学で皆さんと大いに語り合い、わくわくを膨らませていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

心新たに

教務課長
太田　美穂子

本年4月から教務課に勤めさせていただいております。これまでは滋賀県内にある二つの国立大学で38年間勤務してまいりました。この春は久しぶりの緊張感に溢れ、また、入学式の日は新入生の学生さんのように身の引き締まる思いでした。心新たにまた一つひとつ積み重ねていきたいと思っています。輝く学生さんと身近に接してわくわくしています。少しでも本学のお役に立てるよう努力してまいりますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

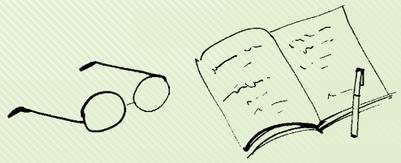
平成30年度、「高校生手作り絵本コンクール」を開催しました。

たくさんの応募をいただき、平成31年3月21日（木・祝）本学のオープンキャンパス時に表彰式を行いました。本年度も開催いたします。多くの応募をお待ちしています。

各賞　受賞者

・最優秀賞	「ぼく あおむし」	岡山 莉奈さん（滋賀県立彦根翔西館高等学校）
・優秀賞	「なにが好き？」	髙谷 静瑠さん（滋賀短期大学附属高等学校）
	「ここちゃんの おたんじょうび」	山中 莉花さん（滋賀県立彦根翔西館高等学校）
・佳作	「あーくんの だいすきな かぞく」	長田 愛さん（滋賀県立彦根翔西館高等学校）
	「すてきなおべんとうばこ」	吉田 聖望さん（京都西山高等学校）
	「ゆめのくに」	山口 瑚々菜さん（滋賀県立彦根翔西館高等学校）
・特別奨励賞	「シャカシャカ」グループ作品	吉村 唯さん、山田 深優さん、堀 萌香さん、森川 こころさん（滋賀県立大津高等学校）

退職職員 ごあいさつ



楽しい充実した時間に感謝

生活学科　特任教授　**金丸　政義**

非常勤講師として7年、常勤の教員として7年、14年間もお世話になりました。特に常勤となっての7年間は、製菓実習を中心とした授業の中での学生達とのふれあいや現役の学生だけでなく、卒業生達ともおもいきり活動したベーカリー塾など、これらの経験は私の人生の中でかけがえのない大切な時間となりました。それが出来たのも、常に陰で支えてくださいました教職員の皆様のおかげだと思います。厚く御礼申し上げます。又、充実した時間を送らせていただいた純美禮学園に感謝いたします。今後も滋賀短期大学の益々の発展をお祈り致します。本当にありがとうございました。

3年間をふりかえって

幼児教育保育学科　講師　**北後　佐知子**

滋賀短期大学での3年間を振り返って思い出されるのは、学生、先生方、職員の方と共にアイディアを出し合い、実現に向けて試行錯誤を重ねられたことです。保育・幼児教育、保育者養成についてはもちろんですが、滋賀という地域に根ざした歴史ある短期大学ならではの魅力や可能性についても語り合い、さまざまなチャレンジをさせて頂くことができました。学生や先生方、すみれが一でん・附属幼稚園の子ども・保護者、そして地域の方々と心に残る時間、場を共有する機会に恵まれたことは本当に幸せです。

このような経験から私は「乳幼児・保育幼児教育とは」という問いへ立ち戻ったように思います。その原点から、この度、また新たな一歩を踏み出させて頂くことになりました。退職に際し、滋賀短期大学での3年間の日々が自身の一部として根付いていること、また大きな支えになっていることをあらためて実感しています。短い期間でしたが、出会えた全ての皆さまに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

退職のご挨拶

ビジネスコミュニケーション学科　准教授　**杉山　潤**

赴任一年目の私

このたび、本学を去るにあたり、自身の取り組みについて印象に残っているものを挙げてご挨拶とさせていただきます。

まず、赴任時の最大の案件は新学科（現ビジコミ学科）設立の準備に関することでした。ネイティヴの講師の方々との交渉にあたるなどなかなかの苦労でした。

次に「アッセンブリ・アワー」という取り組みがありました。ゼミの取り組みの発表の場であり、学校全体が一つになれる素晴らしい取り組みでした。

また、学生自治会の「なぜ本学には卒業パーティーがないのか」という声に応えて有志数十名から始めた会が、全員参加で今でも続いているのは素晴らしことです。

アメリカ短期留学プログラムの参加者を募ったこと、バドミントン、ソフトテニス、軽音、写真部などの顧問として札幌や鳥取まで引率したことも印象に残っています。

最後の8年間は寝たきりになった母親の介護を抱えての生活でしたが、退職して、3週間後に母は逝去いたしました。

最後に友好的な関係を持つことのできた人々や熱心に受講してくれた学生諸氏には心より感謝しております。来月には取り組んできた全集の第10巻（15巻で完結予定）が出版されます。また、今月は教員になって2年目のゼミの卒業生、この学報が出るころには最初に担任をしたゼミの卒業生との同窓会を予定しています。

皆さんのますますのご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

Check it out!!

皆さんに、お知らせやニュースをお届けします！

Shiga・Tan・Information

同窓会だより

【 新入会員のお知らせ 】

●平成31年度新入会員（平成31年3月卒業生）
生活学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・64名
幼児教育保育学科・・・・・・・・・・・・135名
ビジネスコミュニケーション学科・・・ 81名
計280名

●年次評議員
生活学科：伊藤瞳さん、外池円花さん
幼児教育保育学科：今坂詩歩さん、中村友美さん
ビジネスコミュニケーション学科：小林未奈さん、藤野結衣さん

●評議員　中村友美さん

【 2019年度同窓会総会・懇談会のご案内 】

今年度も総会の後に、生活学科製菓・製パンコースの石井 明先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。お菓子作りの楽しさをいっしょに体験しましょう。ご参加をお待ちしております。

●日　時：2019年9月8日(日)
9：00～　受付（玄関ホール）
9：30～　総会
10：00～　お菓子作り（111教室）
12：30～14：30　懇談会（本学食堂）

●持参品：エプロン・三角巾・上履き
●会　費：1,000円（当日受付にて徴収します）
●申込み方法：
①総会案内状同封のハガキで申込み。
②下記宛FAXで会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、同窓会事務局077-523-5124に送信してください。
●申込み締切日：2019年8月16日(金)

令和元年度 ホームカミングデーのご案内

【生活学科】　●日 時：2019年8月6日(火)、9月8日(日)
【幼児教育保育学科】●日 時：2019年11月3日(日)（純美禮祭2日目）
【ビジネスコミュニケーション学科】●日 時：2019年11月3日(日)（純美禮祭2日目）
【開始時間について】右記QRコードから確認ください。

平成30年度の就職状況について

学生支援課　**大伴　嘉彦**

平成30年度の就職状況は、卒業生280名に対し、就職希望者が259名で就職内定者が255名、率にして98.5%という結果であった。残念にも4名の学生が未内定であった。他に一時就労9名、家事自営4名、その他2名、4年制大学への編入進学者は6名であった。学科別に観てみると、生活学科64名の卒業生で就職希望者が55名、就職内定者が54名で未内定者が1名。後9名が進学、一時就労、家事自営、その他に含まれる。幼児教育保育学科135名の卒業生で就職希望者が128名、就職内定者が127名で未内定が1名。後7名が進学、一時就労、家事自営であった。ビジネスコミュニケーション学科81名の卒業生で就職希望者が76名、就職内定者が74名で未内定が2名。あと5名が進学、一時就労、家事自営という結果であった。公務員については、昨年度より4名少ない10名であった。しかしながら学生の公務員志向は高く今後も二桁内定を維持したいと考える。学生支援課としては、一時就労を無くしていく方向で支援を続けたいと考えている。次年度からは、新しくキャリアコンサルタント資格を取得している職員も参加し、今後更に学生の就職支援に関する指導、管理を徹底し、早い時期からの指導、気づきをテーマとして充実を図りたい。

平成30年度 免許資格取得状況

●生活学科
栄養士 …… 31名
栄養教諭二種 ……4名
製菓衛生師受験資格 …… 22名
フードスペシャリスト …… 16名
専門フードスペシャリスト（食品開発）……3名
パティスリーラッピング3級 …… 12名

●幼児教育保育学科
幼稚園教諭二種 …… 129名
保育士 …… 130名

●ビジネスコミュニケーション学科
上級秘書士 …… 24名
上級秘書士(メディカル秘書) …… 16名
秘書士 …… 40名
上級情報処理士 …… 7名
情報処理士 …… 61名
上級ビジネス実務士 …… 9名
ビジネス実務士 …… 3名
ウェブデザイン実務士 …… 5名
日本医師会医療秘書 …… 9名
レクリエーション・インストラクター …… 6名
健康運動実践指導者 …… 6名

学外実習報告

■ 初めての保育実習で学んだこと

幼児教育保育学科　清水　大輔

今回の保育実習は、これまで学んできたことを実際の保育現場で初めて活かす機会となりました。緊張と不安と様々な思いがありましたが、子ども達が笑顔で駆け寄ってきてくれて少し気持ちが和らぎました。

今回、主に二歳児のクラスで実習をさせていただきました。初めは子ども達とのコミュニケーションが上手くとれませんでした。そんな時に先生方から声を掛けていただいたり、子ども達が「お兄ちゃん先生ご飯一緒に食べよ」と声を掛けてきてくれて日を重ねるごとに自分から先生方や子ども達に声を掛けていくことが出来ました。実習で学んだことの一つは「こどもたちへの伝え方」です。普段、家族や友達、大学の先生と話をしている時は意識せずに話をしているけれども、子ども達と話をする時は、例えば「それ取って」ではなく、「〇〇ちゃん白いお皿を取って」のように具体的に伝えることが必要だと思いました。また、こういう伝え方をすることで色や形を具体的に言うことで、言葉を学んでいくのだなと思いました。また子ども達は本当に多くのことを「遊び」を通して学んでいるのだということも学ぶことが出来ました。絵本を通して登場してくるキャラクターの感情を知り、ボール遊びを通してルールを学び、そういった積み重ねが大切なのだと学びました。先生方はそういったことを意図的に普段の保育の中に組み込んでおられ、保育という仕事はとても専門的な仕事だと思いました。今回の実習の経験と大学での学びを活かして次回の実習に臨みたいと思います。

■ 保育実習を終えて

幼児教育保育学科　田中　あみ

今回、初めての保育実習ということで、保育者がどのように子どもに接しているのかを観察するという目標を持って、私は実習に臨みました。

実習中、午前中の活動が長引き、給食の時間が大幅に遅れた日がありました。私は子どもたちに給食を早く食べ終えて欲しいと思い、「まだおかずが残ってるよ」「お皿ピカピカになった？」など、子どもたちにいつもよりも多く声をかけていました。すると、隣に座っていた子どもが急に泣き始めました。なぜ泣き始めたのか分からない私は「どうしたの？」などと声をかけましたが、子どもの目にはどんどん涙が溢れる一方です。どうすればいいのかわからず困っていると、先生が「声をかけずに見守ってあげて」と教えてくださいました。そして先生はその子に「待ってるからね」と言うと、子どもはコクリと頷き、給食を食べ始めました。後で、先生になぜそう接したのか聞くと、「大人が近くに居すぎるとプレッシャーを感じてしまう子がいる。もちろん、そう感じない子もいるので、見極めて接することが大事だ」と教えていただきました。このことから、子どもにも様々なタイプの子がいること、どんな子かを見極め、その子に合った接し方をしなければいけないということ、そして見守ることの難しさを学びました。

今回の実習で、保育の楽しさ・奥深さを改めて感じることができました。授業だけではできない体験から多くのことを学び、とても充実した10日間となりました。

■「野外実習」を終えて

生活学科　食健康コース（H31.3卒）　松下　珠千

野外実習では、食事作りを通して小学生子どもたちの夏の思い出作りをお手伝いさせていただきました。一日目は、バーベキューにすいか割。二日目は、手作りモッツアレラチーズを使った窯焼きピザなど、実に盛りだくさんの内容でした。子どもたちに一泊二日を健康で安全に笑顔で過ごしてもらえることを目標としました。

初日は、慣れない調理場に戸惑いながらも、少しの失敗もみんなで笑顔に変えて調理するのがとても楽しかったです。火おこしや煙に悪戦苦闘したりと大変なこともありますが、野外で食事を作る不便さや苦労がご飯をよりおいしくしてくれることを学びました。

二日目のチーズ作りでは、子どもたちに作り方を説明するために事前に準備した媒体が大活躍でした。野外実習は日頃の学びを生かす場面でもあります。子どもたちの反応はとても素直なので、嬉しそうな姿を見るたびに自信にもつながりました。

予定通りにいかないことを予測して臨機応変に対応することも野外実習の醍醐味だと思います。また、その経験が栄養士として現場に立つときに大事になってくるのだと思います。

2年続けて野外実習に参加しましたが自分の大きな成長を実感することができました。学外に出て経験を積むことが、短い大学生活をより充実してものにしてくれ、参加して本当に良かったなと思っています。

■「インターンシップ」を終えて

生活学科　製菓マイスターコース　2回生　田中　理奈

ホテルの製菓部門を見てみたいと思い、私はインターンシップ先として「琵琶湖ホテル」を選びました。

インターン先では、いくつか感じることがありました。

一つは、準備をする大切さです。作る個数が多いため、作るよりも準備することが多いと感じました。粉等の計量をはじめ、次の作業へ取り掛かる準備、洗い物、鉄板にオーブンシートをセットする、次の日に使うフルーツを小ケースにセットすることなど、地味で細やかなものを含めても、作る時間よりも多かったように思います。それらはすべて「お客様にその品の最高を届けるため」でした。前もって準備してるからこそ、品がどれも均一で且つその品のピーク時に作り上げられるのです。そのために、準備することは大切なのだと思いました。

二つ目は、教えてくださる大切さです。不慣れな作業で私は効率が悪く、「もういいよ。」と言われないかと半ば諦めかけていました。しかし社員さんは丁寧にコツや感覚、どれがいいかなど、付きっきりで何度も教えてくださいました。どんなに不慣れでも見放さず、及第点までチャンスを与え、その都度アドバイスをしてくださったことに、とても感動しました。そしてこの体験で、教えてくださる有難さを知りました。

インターンシップでは、自分が出来ること・出来ないことがわかり、また学校では教えてもらえないことが体験出来るとてもいい機会だったと思いました。この体験を踏まえ、就職活動をしていきたいと思います。

■「インターンシップ」を終えて

ビジネスコミュニケーション学科　2回生　藤井　紘直

私はびわ湖大津プリンスホテルで五日間お世話になりました。「トップオブオオツ」と「ビオナ」というブッフェ形式の二つのレストランでシルバー（フォークやナイフ）のセットや皿引、閉店準備などの数多くの仕事をさせていただきました。

ホテルでは、大学の授業で学んだマナーや言葉遣いなどのスキルを活用して業務を行いました。普段の生活ではできない経験を通して、多くのことを学びました。また、頭では理解できていても行動に移すことができなかったことやお客様目線になれていなかったこと、次のことを予測して行動できていなかったことなど挙げだすときりがない程、普段生活しているだけでは知ることのできないようなことを経験でき、自分自身の課題を自分なりに見つけることができました。

二つのレストランでの業務内容は少しずつ違っていましたが、どちらのレストランでも大切にされていたことは「笑顔」で仕事に取り組み、お客様を最優先に考え行動していることなど、お客様を想う気持ちを念頭において、働くことが大切だと感じました。

お客様としてではなく、一人の従業員としてホテルという職業を観察し、学ばせていただいたことによって新たな知識を得られ、これからの就職活動を真剣に考える貴重な体験となりました。インターンシップではインターネットやパンフレットなどで調べただけではわからない企業の内側を細かく自分の目で直接確認することができる絶好のチャンスだと思うので１回生はぜひ積極的に参加して、確かめてみてください。

入試情報

2020年度入学試験のお知らせ

SHIGATAN
Shiga Junior College

入試日程

総合型選抜【AO】事前面談			
区　分	Ⅰ 期	Ⅱ 期	Ⅲ 期
エントリー期間（締切日消印有効）	7/16(火)～7/26(金)	8/6(火)～8/17(土)	9/2(月)～9/14(土)
面　談　日	8/3(土)・8/4(日) どちらか1日(受付後、連絡します。)	8/23(金)	9/22(日)
結果発表日	8/10(土)	8/31(土)	9/28(土)

試験区分	学校推薦型選抜B【公募制推薦】		一般選抜	
	前期(専願・併願)	後期(専願・併願)	Ⅰ 期	Ⅱ 期
出願期間（締切日消印有効）	10/7(月)～10/19(土)	11/25(月)～12/7(土)	1/6(月)～1/18(土)	2/10(月)～3/2(月)
試験日	10/27(日)	12/15(日)	1/26(日)	3/10(火)
合格発表日	11/5(火)	12/23(月)	2/10(月)	3/13(金)

その他の入試については入試ガイドでご確認をお願いします

〈TOPIC〉

生活学科にライフデザインコースを新設

「快適で豊かな暮らし」を創造・提案・実現するため衣・食・住に関して幅広く学べます。

●入試の名称変更

詳しくは、本学ホームページ・2020年入試ガイド等でご確認をお願いします。

奨学金制度

最大で2年間の授業料が「全額免除」となります。

給付型だから返納不要!

滋賀短期大学 夢・未来人特待生制度（滋賀短 ユメミライ）

※一旦全額納付した後、入学後(6月頃)給付となる奨学金ではありません。

滋賀短 ユメミライ プラチナ100

一般選抜Ⅰ期

2年間の授業料 全額免除

給付条件：入試成績1～5位かつ得点率90%以上
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

2年間 授業料 **0円**（入学金等が別途必要です）
〈2019度入試 実績/2名採用〉

滋賀短 ユメミライ プラチナ50

一般選抜Ⅰ期

2年間の授業料 半額免除 ※国公立大学と同等の授業料で修学できます

給付条件：入試成績上位20位以内かつ得点率85%以上
2年目の給付条件:1回生における所属学科成績上位30%以内

2年間 授業料 **36万円/年**（入学金等が別途必要です）
〈2019度入試 実績/3名採用〉

検定料減免制度

〈総合型選抜（AO）対象〉**早期出願支援制度で**総合型選抜（AO）出願者全員5,000円を減免します。
〈一般選抜＋センター〉**ダブル出願で**検定料60,000円が**40,000円**となります。

同窓生二世修学支援金制度

滋賀短期大学同窓会では、本学同窓生のご子女が入学された場合、同窓生二世修学支援金として入学後30,000円を同窓生の皆さんに支援いたします。

純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)

純美禮学園（滋賀短期大学・附属高校）に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を奨学金（返還義務なし）として支給します。

遠隔地からの進学者支援(家賃補助制度)

遠隔地からの進学者に家賃の半額を補助する制度があります。年額上限36万円を最大2年間補助します。詳しくは、入試広報センターまでお問い合わせください。

●オープンキャンパス　7/20(土)、7/21(日)、8/18(日)、8/19(月)、9/15(日)、12/8(日)、2020年2/9(日)、3/20(金・祝)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。
受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にもぜひお声掛けください。　詳しくはHPをご覧ください。

●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。
また、大学案内、願書等の資料を配布しております。
【見学受付】平日(9:00～16:30)　入試広報課(077－524－3848)までご連絡ください。

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。　入試広報センター（入試広報課）　TEL:077-524-3848　メール:tnyusi@sumire.ac.jp

短期大学行事等開催状況（平成30年12月～令和元年5月）

（総務課に届出済（届出分）の一部を掲載しています。：短大事務局）

12月

1日（土）　滋賀短Kids（調理室）、ITパスポート・MOS（ワード）対策講座
6日（木）　教授会、教学マネジメント部会、FD研修会、教職員人権研修会、すみれがーでん
8日（土）　ITパスポート・MOS（ワード）対策講座
9日（日）　クリスマスオープンキャンパス、臨時幼教科会
12日（水）　栗東高校見学会、地域移動講座in近江八幡、フレッシュ講座
13日（木）　教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会
14日（金）　法人役員会・評議員会
15日（土）　ITパスポート・MOS（ワード）対策講座
16日（日）　公募後期推薦入試、フードスペシャリスト試験
18日（火）　入試委員会、地域移動講座in東近江
20日（木）　臨時教授会、企画委員会（教学マネジメント部会）、奨学生選考委員会、ビジコミ科会
23日（日）　ITパスポート対策講座
25日（火）　企画調整委員会、すみれロードマップ検討会議、冬期休業（1月4日（金）まで）
27日（木）　科会、仕事納め

1月

7日（月）　授業開始、仕事始め、地域移動講座in守山
10日（木）　教授会
12日（土）　滋賀短Kids（調理室）、幼教専門演習報告会
16日（水）　補講日
17日（木）　補講日、教務委員会、学生支援委員会、学資募集委員会、広報・図書委員会、地域移動講座in大津
19日（土）　大学入試センター試験、ITパスポート対策講座
20日（日）　大学入試センター試験
23日（水）　夜のオープンキャンパス（生活学科）
24日（木）　自己点検評価・統括委員会、教学マネジメント部会、企画委員会、すみれがーでん
25日（金）　常任理事会
26日（土）　一般入試（Ⅰ期）
28日（月）　後期定期試験（2月1日（金）まで）
31日（木）　科会

2月

1日（金）　夜のオープンキャンパス（生活学科）
3日（日）　医療事務検定試験
6日（水）　入試委員会
7日（木）　教授会、教学マネジメント部会、人事委員会、FD研修会、すみれがーでん
10日（日）　バレンタインオープンキャンパス（製菓）、特別入試（社会人・留学生）
12日（火）　入試委員会、Ⅱ回生後期成績交付
13日（水）　Ⅱ回生後期再試験
14日（木）　臨時教授会、自己点検・評価委員会、教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会、Ⅱ回生後期再試験
17日（日）　ITパスポート対策講座、幼児教育アカデミーin SHIGATAN
21日（木）　監査、教学マネジメント部会、企画委員会、滋賀県知事と学長との懇談会、すみれがーでん
22日（金）　常任理事会
28日（木）　科会、障がい者受入れ対策委員会

3月

4日（月）　教授会、教学マネジメント部会、法人事務連絡会議
7日（木）　教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会、すみれがーでん
12日（火）　一般入試（Ⅱ期）、法人役員会・評議員会
13日（水）　臨時教授会、入試委員会、企画委員会、ピアノ基礎講座
15日（金）　卒業式、卒業記念パーティー（びわこ大津プリンスホテル）
19日（火）　新Ⅱ回生成績交付・教務オリエンテーション、就職ガイダンス（生活・ビジ）
20日（水）　新Ⅱ回生再試験、学長裁量経費支援による教育研究報告会、ピアノ基礎講座
21日（木）　春のオープンキャンパス
22日（金）　新Ⅱ回生再試験、新Ⅰ回生学生証写真撮影・学生生活オリエンテーション、すみれがーでん
23日（土）　非常勤講師予定者教務説明会
26日（火）　就職ガイダンス（幼教）、保育所実習事後指導、施設実習事後指導
27日（水）　SD関連報告会
28日（木）　科会、高大連携会議
29日（金）　退職者辞令交付式

4月

1日（月）　新規採用者辞令交付式、教授会
2日（火）　入学式、新任ガイダンス（4月5日（金）まで）
3日（水）　Ⅰ・Ⅱ回生オリエンテーション、新Ⅱ回生健康診断
4日（木）　Ⅰ・Ⅱ回生オリエンテーション、新Ⅰ回生健康診断
5日（金）　フレッシュマンセミナー（びわこ大津プリンスホテル）
8日（月）　前期授業開始
11日（木）　SD委員会、教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会
13日（土）　Ⅱ回生公務員模擬テスト（第1回全国模試）
16日（火）　企画戦略会議
18日（木）　教学マネジメント委員会、企画委員会、すみれがーでん
20日（土）　Ⅱ回生公務員模擬テスト（保育士）
22日（月）　京滋私立短期大学協会総会
23日（火）　企画戦略会議、企画調整会議
25日（木）　科会
26日（金）　常任理事会
27日（土）　オープンキャンパス
28日（日）　Ⅱ回生公務員模擬テスト（第2回全国模試）
29日（月）　（昭和の日（祝日））月曜日授業
30日（火）　（退位の日（祝日））火曜日授業

5月

1日（水）　（即位の日（祝日））水曜日授業
2日（木）　（祝日）木曜日授業、すみれがーでん
7日（火）　近畿私立短期大学連合会総会
9日（木）　教授会、学園永年勤続表彰
10日（金）　創立記念日
11日（土）　（幼2）幼稚園前期教育実習補講日、オープンキャンパス（製菓のみ）
14日（火）　企画戦略会議
16日（木）　自己点検・評価委員会、教務委員会、学生支援委員会、学生募集委員会、広報・図書委員会、すみれがーでん
19日（日）　オープンキャンパス
20日（月）　決算監査
21日（火）　企画戦略会議
23日（木）　教学マネジメント委員会、企画委員会
25日（土）　（幼2）幼稚園前期教育実習補講日
26日（日）　Ⅱ回生公務員模擬テスト（第3回全国模試（警察官））
27日（月）　監事決算監査
28日（火）　企画調整会議
30日（木）　法人役員会・評議員会、入試委員会、科会

平成30年度　教育研究活動報告

1）著書

原　知子
■（共）食べ物と健康Ⅳ 調理学　中山書店　10月
■（単）月刊「保育とカリキュラム」食育等　ひかりのくに

前川頼子、李　霞
■（共）「マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論」第2版　保育出版社　3月

松木宏史
■（共）相談援助　青踏社　3月

李　霞
■（単）「保育士の質」の実態と課題―滋賀県南部地域の調査を手掛かりに　三学出版　3月
■（共）比較教育原論　協同出版　3月

林　幸範
■（共）特別支援教育　ミネルヴァ書房　3月

2）本学研究紀要第 44 号　掲載学術論文・研究ノート（2 月）（サブタイトル省略）

原　知子
■（共）保育所における「食育」に関する考察

笹倉千佳弘
■（共）「不登校」児童の家庭・学校間「行き来」駆動抑制要因

荻田純久
■（単）過剰適応の発生機序に関する基礎研究（Ⅱ）

深尾秀一
■（単）幼児の粘土遊びにおける教材のハンドリングについてⅡ

柚木たまみ
■（共）ALS患者に対する音楽療法

前川頼子、浜崎由紀、松井典子
■（共）短期大学における子育て支援の取り組み

久米　央也
■（共）領域「環境」における数量・図形の関心,感覚を育てる保育の研究
■（単）算数科における小学校入門期の図的表現の研究

李　霞
■（単）滋賀県における「保育士の質」の実態と課題Ⅲ
■（単）シンガポールにおける就学前教育改革の動向及び課題

浜崎由紀
■（共）絵本の読み聞かせにおける介在者の役割に関する考察（2）

松井典子
■（共）ピアノ初学者のコード奏における運指の傾向

伊澤　亮介
■（単）「ベトナムにおける遊びを通した教育について」

北後佐知子
■（単）ペスタロッチーの『探求』における人間の「発展論」について

若生眞理子
■（共）地域で育む幼児向けマナー教材の開発に向けて

林　幸範
■（共）特別支援教育における教員の役割に関する研究（1）

3）学術論文（サブタイトル省略）

秋山元秀
■（単）シンガポール広州地下鉄網の発達と都市化　小野寺淳編『中国華南の地域構造の再編に関する地理学的調査研究』横浜市立大学都市社会文化研究科　pp.59～70　8月

笹倉千佳弘
■（共）乳児院・児童養護施設の里親担当職員による里親支援の特徴　大阪大谷大学紀要第53号　2月

浜崎由紀、松井典子、北後佐知子
■（共）「子育ての森」で育つ子どもたち　子どもと文化研究所　9月

浜崎由紀
■（共）読み聞かせにおける読み手の視線が聞き手の態度に与える影響についての考察　「保育研究第49号」平安女学院大学短期大学部保育科保育研究会　3月

小山内幸治
■（共）金融経済教育およびLayeringがもたらす国民とのコミュニケーションの改善　金融広報中央委員会　第15回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール奨励賞受賞　9月

金澤雄介
■（単）“A Typological Analysis of Differential Object Marking in Old Sardinian” Aplicaciones de la lingüística de corpus al estudio de lenguas modernas pp.101-112　1月

4）学会発表

中平真由巳
■（共）滋賀県の大学・短大に通う学生の朝食摂取に関する実態調査　滋賀県公衆衛生学会　2月

中平真由巳、原　知子
■（共）揚げ物及び揚げる調理に対する意識調査　日本調理科学会　8月

中平真由巳、山岡ひとみ
■（共）滋賀県の家庭料理　主菜の特徴―季節ごとにみる主菜―　日本調理科学会　8月

中平真由巳、灰藤友理子
■（共）Effects of a Cooking Program on the Dietary Consciousness of Preschool Children and Their Parents in Japan　The 7th Asian Congress of Dietetics The Rise of Nutrition and Dietetics in Asia　7月

原　知子
■（共）乳幼児の五感を育てる～食育～　日本保育学会　5月
■（共）兵庫県の家庭料理主菜の特徴　日本調理科学会　8月
■（共）大阪府の家庭料理主菜の特徴　日本調理科学会　8月
■（共）揚げ物の嗜好と揚げ調理に対する意識　日本調理科学会　8月

笹倉千佳弘
■（共）「不登校」児童の学校と家庭間「行き来」駆動の可能性に関する検討　日本教育社会学会　9月
■（共）乳児院・児童養護施設の里親担当職員による支援の実態　日本社会福祉学会　9月
■（共）「不登校」児童の家庭・学校間「行き来」駆動促進要因　関西教育学会　11月
■（共）性的虐待を受けた女性サバイバーと非加害親である母との関係　日本子ども虐待防止学会　12月

灰藤友理子
■（共）Associations between Body Mass Index and Dietary Awareness in Adolescent Women　The 7th Asian Congress of Dietetics The Rise of Nutrition and Dietetics in Asia　7月

深尾秀一
■（共）領域「表現」の専門的教授内容とは何か　―領域「表現」の教科書目次のテキストマイニング分析から見る専門的事項の変遷―　保育教諭養成課程研究会　1月

柚木たまみ
■（単）シンポジウム「癌とALSにおける緩和ケアとしての音楽療法」シンポジスト「ALS患者の音楽療法」第15回神経難病における音楽療法を考える会・第36回日本神経治療学会学術集会　11月

前川頼子
■（単）伝承文化である　わらべ歌遊びを用いた保育実践の現状　日本保育学会　5月

浜崎由紀
■（共）絵本の読み聞かせにおける介在者の役割　日本保育学会　5月
■（共）演劇的アプローチによる読み聞かせの研究　日本保育学会　5月

林　幸範
■（共）養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究（1）（2）日本発達障害学会　8月
■（共）養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究（3）（4）日本応用心理学会　8月
■（共）養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究（5）日本特殊教育学会　9月
■（共）大学での授業における参加型授業の実践的研究（4）日本協同教育学会　11月
■（共）養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究（6）日本子ども虐待防止学会　11月
■（共）養護教諭による虐待の原因の類型に関する研究（7）（8）日本発達心理学会　3月
■（単）金融リテラシーに対する影響要因の分析について　経済教育学会　9月

小山内幸治
■（単）「大学生へのアンケート調査に基づくLayeringとPF教育の効果の比較」金融教育研究会　2月

江見和明
■（単）介護旅行サービスの普及に関する現状と課題―ソーシャル・イノベーションの視点から―　日本消費経済学会全国大会7月

金澤雄介
■（単）サルデーニャ語におけるクリティックの重複の消失―語順の変化と関連づけて―　日本ロマンス語学会　5月
■（単）Differential Object Marking in kinship terms and animacy hierarchies in Old Sardinian　Differential Object Marking in Romance – towards microvariation　11月
■（単）古サルデーニャ語における使役文についての予備的考察　2018年度ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会　3月

伊澤　亮介
■（単）「伝統民間劇台本『長山遺禄』とそのチュノムの使用状況について」日本漢字学会第1回研究大会　12月

5）演奏会・展覧会

柚木たまみ
■ムジークフェストなら2018 京とりこin壺阪寺　壺阪寺（奈良県）5月／ムジークフェストなら2018 京とりこin生駒　アトリエアルティカ（生駒市）5月／コンサートwith千鶴子vol16　蘇生会総合病院　6月／Dr.Kの温室 月の光と月の影　アトリエアルティカ（生駒市）　7月／メサイアチャリティーコンサート　京都堀川音楽高等学校ホール　11月／ケルターボーンと仲間の音楽会　トントレフヒコ（大阪市）　12月／2018MusicGallery 京とりこクリスマスコンサート　尖山フルートレッスンスタジオ　12月／フランスの歌曲とアリア、ピアノの名曲によるサロンコンサート　京都市北文化会館創造活動室　2月／雛祭コンサート　京都堀川音楽高等学校　3月／影と沈黙と…～ルーセル、オネゲル、デュティユー～　青山音楽記念館バロックザール　3月

6）その他の発表

秋山元秀
■少子化時代の高等教育と高大連携の課題（滋賀県高等学校進路指導研究会進学部会）　滋賀短期大学　8月／合戦の宇治橋（宇治市民大学講座）　宇治市福祉会館　9月

原　知子
■食肉シンポジウム 食肉のおいしさと健康　立命館大学　11月

山中博史
■「愉快に体力つくりと自己効力感の育成　～14年次の園内研究をとおして～」　奈良ホテル　7月

7）国際的活動

中平真由巳、灰藤友理子
■Effects of Cooking Class Program on Cooking Skills and Dietary Consciousness in Preschool Children　7月

8）社会的活動

秋山元秀
■草津市景観審議会会長　草津市　4月～／滋賀県NIE推進協議会会長　大津市　4月～／人文地理学会賞選考委員会委員長　人文地理学会（京都市）　11月

中平真由巳
■恵みを生かす民族の知恵　―命をつなぐ保存食―　平野公民館6月

清水まゆみ
■図書館連携講座　大津市立和邇図書館　8月／湖国の食（食文化記事）中日新聞　1月／近江美味しもの　KBS京都ラジオ　8月

清水まゆみ、池之内愛子、岡田香織、豊岡真莉
■こども講座　こどもラボラトリー～食べ物の不思議～　本学　8月

原　知子
■滋賀医科大学共催講座　本学　7月／保育士・支援員研修子どもの食事と栄養講師　本学他　7～2月／淡海文化講座健康長寿のための食生活　10月／大津市立北図書館　教育講座　調理と温度　11月

笹倉千佳弘
■岡山大学大学院保健学研究科「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログ18講師「社会的ハイリスク妊産婦と彼女から生まれた子どもへの支援」岡山大学大学院保健学研究科　2月

山岡ひとみ
■日野菜漬け作り　渋川小学校　2月

灰藤友理子
■大津健康フェスティバル　明日都浜大津　10月／大津市食育推進ネットワーク会議　大津市保健所　2月

灰藤友理子、岡田香織、中平真由巳、豊岡真莉、池之内愛子
■滋賀短Kids　本学　5.6.7.8.9.10.11.12.1.3月

池之内愛子、岡田香織、豊岡真莉、中平真由巳
■まるごと竜王産スキヤキプロジェクトinグランマルシェ～滋賀・竜王健康&長寿のヒミツ～発酵食品&ヘルシー野菜～　竜王町三井アウトレットパーク　5月

豊岡真莉、岡田香織、池之内愛子
■すみれがーでん　親子おやつ教室　本学　8月

岡田香織、豊岡真莉、池之内愛子、中平真由巳
■滋賀短「ベーカリー塾」Café～株式会社百町物語との連携活動（kitchen&kitchen）～　大津市アンリシャルパンティエ跡地　8,9,10,11,12月

服部聖羅
■ベーカリーカフェ　大津商店街　6～12月／ぜぜときめき坂ハロウィン　Ohmi!三角広場　10月／ヘキセンハウス　びわ湖大津プリンスホテル　11～12月／クリスマスケーキ教室　本学　12月

荻田純久
■平成30年度滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座「子どもの心理学」講師　本学　8月
■キンダーカウンセラー　洛東幼稚園　5,7,9,11,3月／家庭的保育研修講師　本学　7月／家庭的保育研修講師（甲賀市）甲賀市役所　8月／家庭的保育研修講師（守山市）　守山市役所　2月

北尾岳夫
■京都YMCAスキー専門委員　4月～／滋賀県スキー連盟常任理事（総務部長）8月～

深尾秀一
■第3回幼児造形研究大会　びわこ集会　講師　滋賀短期大学附属幼稚園　7月／東近江市幼児教育センター 滋賀短期大学共催講座　講師　東近江市立長峰幼稚園　12月／外国人児童教育支援活動グループ「日和」顧問　瀬田公民館　通年

柚木たまみ
■第4回兵庫・篠山とっておきの音楽祭　オープニングセレモニー献歌　丹波篠山市　4月／特別支援学級在籍児童に対する音楽療法実施講師　大東市子ども発達支援センター　6月～／守山市立幼稚園・子ども園教育研究会第3グループ研究会講師　守山市立河西幼稚園　7月／幼児教育アカデミー in SHIGATAN 研修講座講師　本学　2月

前川頼子
■滋賀県保育協議会新任保育者研修講師　滋賀県立長寿社会福祉センター　5月／園内研究会講師　日野町立保育所こばと園　8月／滋賀県私立幼稚園協会研修会講師　本学　8月／家庭的保育事業　滋賀県保育協議会家庭的保育事業基礎研修会講師　本学　7,8,9月

久米央也
■守山市訪問相談員　守山市内幼・保・小中学校　7,10,2月／守山市就学支援員委員　守山市　8,10月

松木宏史
■大津市平野学区社会福祉協議会参与　大津市　通年／大津市子育て支援員研修講師　大津市　11月／吹田市第3次地域福祉計画推進委員会副委員長　吹田市　通年／摂津市第3次地域福祉計画推進協議会委員　摂津市　通年

李　霞
■大津市立幼稚園保育主任　大津市立保育園代表保育士合同研修会講師　大津市役所大会議室　8月／一般社団法人滋賀県保育協議会主催保育士等キャリアアップ研修講座講師　本学　9月／地域移動講座講師　大津市立市民文化会館　1月

浜崎由紀
■京都市児童館・学童保育所職員研修会の講師　京都市生涯学習総合センター　7月／滋賀県保育士等キャリアアップ研修の講師　本学　10月／滋賀県子育て支援員研修の講師　滋賀県立県民交流センター　11月／紙芝居読み聞かせ講習会の講師　京都市立安祥寺中学校　2月

松井典子
■平成30年度滋賀県立文化交流会館自主制作事業の外部評価委員　滋賀県立文化産業交流会館　2月／パパ&ママワークショップ　子どもと民族楽器で遊ぼう!　まちなか交流会会館ゆうゆう館　2月

林　幸範
■東京都港区教育委員会　特別支援教育派遣専門委員　東京都港区立六本木中学校　5,6,10,12,2月

山中博史
■守山物部スポーツクラブ夏休みキッズ教室　守山小学校　8月

沖山圭子
■全国医師会医療秘書学院連絡協議会　運営委員／日本医療福祉実務教育協会専門委員／韓国　韓南大学校文科大学　日本文化特別講演会　講師　韓国大田市　10月／大阪市立東住吉中学校キャリア教育実践　講師　大阪市　2月

金澤雄介
■関西言語学会　編集委員／平成30年度大津市立北図書館教育講座　滋賀短期大学図書館連携講座「比べてわかる! 日本語から見たイタリア語の表現」　大津市立北図書館　10月

江見和明
■日本消費経済学会　監事

堀池喜八郎
■「森鷗外と高木兼寛にまつわるビタミンの話―ヒトはこれだけ食べれば健康に生きていける」　大津市立図書館　11月

中村吉弘
■NPO法人シニアマイスターネットワーク厚生労働省指定ホテルマネージメント技能検定官　定例・研究会　兵庫県西宮市　通年

図書館だより

本学図書館では、学生の皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。
参考調査も行っており、皆さんが必要とする情報を収集するお手伝いもします。
図書館には皆さんの使えるパソコンも複数設置しています。
Word・Excelでのレポート作成にも図書館をご利用ください。
また、授業の合間に図書を読んだり、映画を見たり、インターネットなどを利用したり、といった娯楽活動にも是非どうぞ。
皆さんがいい本に出会え、学生生活で良い思い出になるよう願っております。
図書館から、皆さんにお勧めの図書を紹介します。

幸せをつくるシゴト：完全オーダーメイドのウェディングビジネスを成功させた私の方法
山川咲著　講談社

ビワイチ公式ガイドちずたびびわ湖一周自転車BOOK
輪の国びわ湖推進協議会編著
西日本出版社

子どもイキイキ！園生活が充実する「すきま遊び」
社会福祉法人
日本保育協会監修
中央法規出版

最新版 大学生のためのレポート・論文術
小笠原 喜康著
株式会社講談社

たかこさんが教えてくれた、ボウル1つで手づくりおやつ：まいにち食べたい簡単お菓子&パン
稲田多佳子著
学研プラス

改訂 キャリアデザイン入門
菊地 信一著
株式会社光生館

訃報

元幼児教育保育学科長　**越智純子様**が、
平成30年12月30日にご逝去されました。
ここに、謹んでお悔やみ申し上げ、追悼の意を表します。

人事異動

退職

（平成31年3月31日付異動）

生活学科	特任教授	金丸　政義
	特任助手	池之内　愛子
	非常勤職員	青山　美和
	非常勤職員	山川　紀美香
	非常勤職員	金子　久美
幼児教育保育学科	講師	北後　佐知子
	特任准教授	山中　よし枝
	嘱託職員	菅井　布美
ビジネスコミュニケーション学科	准教授	杉山　潤
	嘱託職員	山口　仁美
総務課	主事	髙木　則子（平成31年1月31日付）
	用務員	久田　隆
学生支援課	主任	酒井　弘子
	嘱託職員	佐野　淳
入試広報課	課長	三好　隆之
	嘱託職員	三輪　高之
	非常勤職員	蠏川内　花歩

採用

（平成31年4月1日付異動）

生活学科	教授	石井　明
	特任助手	岸田　みさき
	非常勤職員	北川　志信
幼児教育保育学科	特任教授	永久　欣也
	特任准教授	三上　佳子
	嘱託職員	佐野　淳
ビジネスコミュニケーション学科	嘱託職員	河野　渚
地域連携教育研究センター	准教授	松村　都子
総務課	嘱託職員	中野　奈央子（平成31年1月28日付）
	用務員	吉田　賢一
教務課	課長	太田　美穂子
学生支援課	専門嘱託職員	梅村　妙子
	専門嘱託職員	岡田　英也
入試広報課	主事	市原　淳美（平成31年4月22日付）
	嘱託職員	大友　由美子

昇任

幼児教育保育学科	教授	前川　頼子（准教授）

配置換え

入試広報課長		中村　治重（教務課長）

寄付報告

平成30年10月1日から平成31年4月25日の間に、滋賀短期大学教育研究基金に6件、180,000円のご寄付を賜りました。ご寄付を賜りました方のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

有限会社　豆藤様、中村　猛様、竹内　康治様、村山　晶彦様、古市　悦子様、鶴迫　雄二様

公開講座について

令和元年の公開講座について、下記のとおりお知らせいたします。
また、生涯学習講座及びこども講座についても開催いたしますので、詳しくは下記までお問合せください。

滋賀短期大学 地域連携教育研究センター
☎077-524-3605

滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

日　程：令和元年8月10日（土）
場　所：滋賀短期大学
テーマ：筋肉と健康　-サルコペニア対策における栄養管理-

○講演の部【100名】
場　所：滋賀短期大学3号館　SUMIREホール（311教室）
時　間：午前9時30分～午前11時20分
・「筋肉と健康とのかかわり」
　滋賀医科大学附属病院　栄養治療部　講師　馬場　重樹 氏
・「サルコペニア対策を運動から考える」
　滋賀医科大学附属病院　リハビリテーション部
　主任理学療法士　岩井　宏治　氏
・「サルコペニア対策を食事から考える」
　滋賀医科大学附属病院　栄養治療部　管理栄養士　丈達　知子 氏

○調理実習の部【30名 ※講演の部受講者のみ受講可】
時　間：午前11時30分～午後３時
・「筋肉の減少を予防～豊富なたんぱく質でバランスのとれた食事～」
　滋賀短期大学　生活学科　講師　山岡　ひとみ 氏
　滋賀医科大学附属病院　栄養治療部　管理栄養士　安原祥子 氏

公開講座

開催日：令和元年10月12日（土）
場　所：滋賀短期大学3号館　SUMIREホール（311教室）
　　午後2時～午後3時30分
・「私たちは太陽という星に生かされている～お日さまとともに元気にくらす～」
　滋賀短期大学　ビジネスコミュニケーション学科
　特任教授　医学博士　堀池　喜八郎　氏
開催日：令和元年10月26日（土）
場　所：滋賀短期大学3号館　SUMIREホール（311教室）
時　間：午後2時30分～午後4時30分(予定)
・「クラシック音楽の愉しみ～木管５重奏の響き（パート２）～」
　ゲスヒェン木管五重奏団